



支援プログラム

金沢ゆとり学園(令和8年3月～)

(児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援・放課後等デイサービス)



創設者の思い

重度な障害をもって
病院から出ても先(これから)がみえない
眠れない日々
行き場所がなく自宅で過ごす…
発達の段階で悩む…
成人を迎え将来を考える…どんな時も

「金沢ゆとり学園」は明るく元気に笑顔で寄り添います
～心にゆとりをもって～



そら(代表理事) 5つの想い

無限の可能性を信じて 自由に 安心して 不可能を可能にしながら
未来へ広がっていく場所「そら」

無限

そらはどこまでも広がり 境界がない
そらのように 子どもたちの一人ひとりの可能性は無限に広がっています
一人ひとりのもつ力を大切に育んでいきます

自由

トビウオがそらへ飛び立つ姿には 自由への願いを込めています
空は固定概念に縛られず 自由そのもの
その子らしく のびのびと安心して過ごせる環境を大切にします

安心感

晴れたそら ふわふわの雲 希望の虹のかかる穏やかなそら
子どもたちだけでなく ご家族も安心して過ごせる場所を目指します

不可能を可能にする

そらを飛ぶトビウオ 本来トビウオはそらを飛べません
「できない」ことを「どうすればできるのか」をともに考え
小さな一歩を大切に支援していきます

未来への広がり

そらに羽ばたく鳥のように 無限の未来に向かう子どもたちを
支えたい
ここでの経験が 子どもたちの未来へとつながっていくことを
願っています



一般社団法人 そら 【理念】

心にゆとりをもつ

～共に考え、歩み、繋ぐ

共に成長する～



一般社団法人そら 【理念】

1人ひとりの人格として尊厳をもち
健康で温かく幸せであるあたりまえのことが
家庭や地域で生活がおくれるよう
全力をつくして支援をします



一般社団法人そらとは…

【事業内容】

- 児童発達支援事業（ゆとり、ひばり）
- 居宅訪問型児童発達支援（ゆとり）
- 放課後等デイサービス（ゆとり、ひばり）
- 障害児相談支援、計画相談支援（ことり）

【対象】

- 0～18歳の重症心身障害児が基本
- 重心がついていない医療的ケア児のお子さんも
条件はありますが受け入れをしています

【営業時間/サービス提供時間】

- 9：00～17：00 / 10：00～16：30
10：00～15：00(学休日)

【送迎範囲と訪問範囲】送迎：あり

金沢市、白山市、野々市市、内灘町など
※その他の地域の方は要相談

【職員構成（法人内）R8.03月現在】

児童発達支援管理責任者 2名

保育士（児童指導員・指導員を含む） 9名

看護師 15名

リハビリ専門職員 3名

相談支援専門員 1名

医療的ケア児等コーディネーター(金沢市委託2名) 3名

その他職員 1名

※2つ以上の職種を兼務している人数も含む



ゆとり学園が目指しているもの

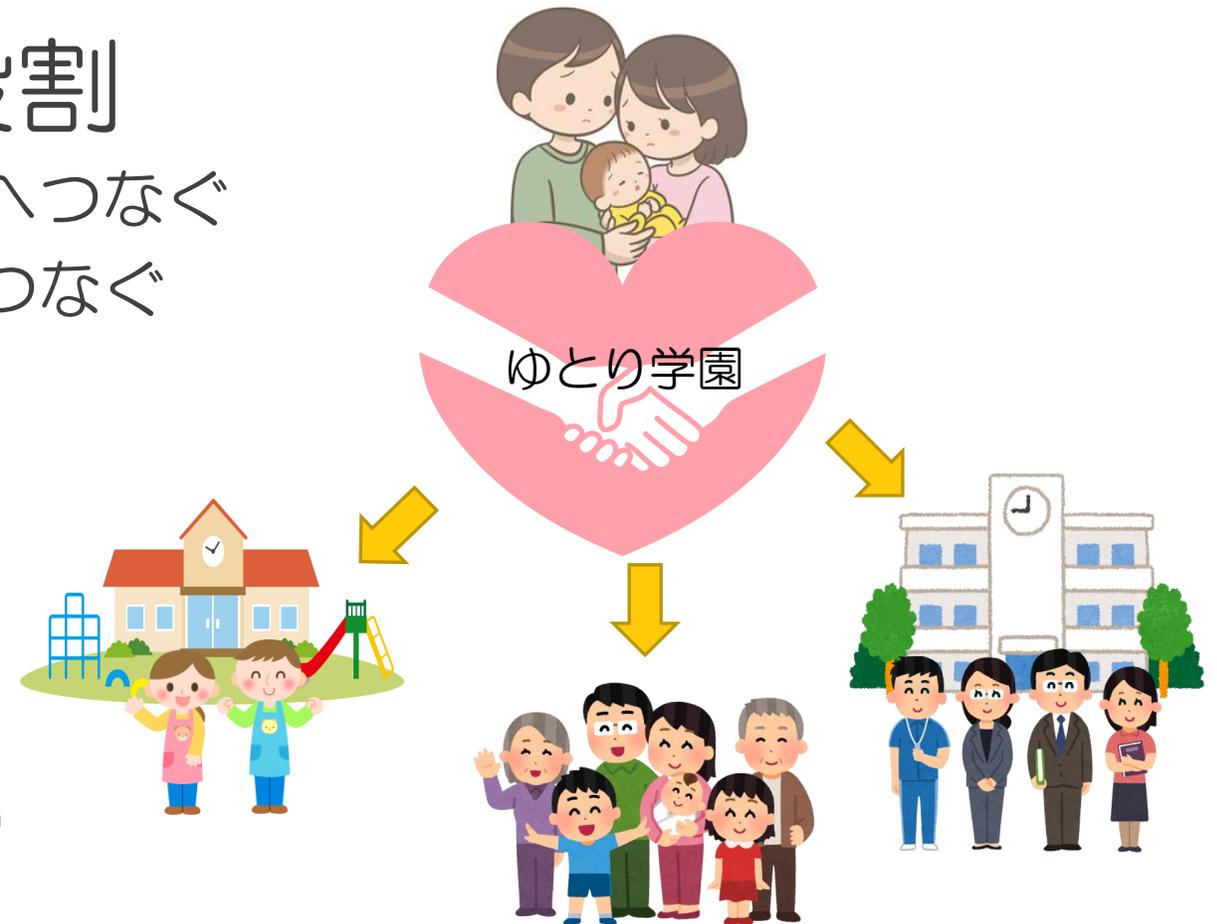
- ・大切にしていること

◇つながり、つなぐ役割

病院から自宅、自宅から学校へつなぐ
小さな集団から大きな集団へつなぐ
家族と家族をつなぐ

◇一緒に子育て

◇顔の見える関係作り





支援方針(各事業ごと)

児童発達支援

- 病院からはじめての退院、不安に寄り添います
- 生活の基本リズムを一緒に考えよう
- 新しい体験や経験の積み重ねをしよう
(家で出来ないことを体験！また継続的な実施)
- 親子で外出するための練習や環境を一緒に考えます
- 保護者の社会復帰(復職など)支援と
社会から取り残されないように…
- 児童発達支援センターや大きな集団、地域への
挑戦をサポートします
- 特別支援学校などへいくための準備をしよう

放課後等デイサービス

- 小学部
 - 今しか出来ないこの時間・瞬間を楽しもう
 - 『挑戦』に全力でサポートします
 - 生活の中に「学校」が！
 - リズムの組みなおしをお手伝いします
 - みんながふっと一息つくことができるように
- 中等部・高等部
 - 笑顔溢れる楽しい時間を過ごそう！
 - 次のステップを一緒に考えていきます
(生活介護、入所、転校など…)



支援方針(各事業ごと)

居宅訪問型児童発達支援

□病院からはじめての退院

不安や疑問が多い家族のサポートをします

□通所施設に通うための練習

スモールステップで確実に1歩ずつ！

□親子で過ごす時間を大切にしよう

作品や遊びがお話のきっかけになれば…

□社会から取り残されないように…

□「遊び」の中で成長発達のお手伝い！

《居宅訪問型児童発達支援とは》

*外出することが難しいお子さんのご自宅に訪問支援員(保育士や看護師、リハビリ専門職員)がお伺いし遊びや活動を通して発達支援を行うサービスです

*お子さんの体調にあわせ、週に1~2日間(1回40-60分)の時間で一緒に遊ぼう♪



ゆとり学園での過ごし方(例)



児童発達支援(例)		放課後等デイサービス (放課後:例)		放課後等デイサービス (学校休業日:例)	
10:00	登園(送迎または家族の送り) バイタルチェック	学校 終了後	学校お迎え バイタルチェック おやつ・水分補給 	10:00	登園(送迎または家族の送り) バイタルチェック
10:30	朝の会 リハビリなど		活動 リラックスタイム	10:30	朝の会 リハビリなど
11:30	ランチタイム お昼寝 リラックスタイム 	16:30	帰宅準備 降園(送迎または家族の迎え)	11:30	ランチタイム お昼寝 リラックスタイム 
14:30	おやつ・水分補給 活動			14:30	おやつ・水分補給 活動
15:00	降園(送迎または家族の迎え)			16:00	降園(送迎または家族の迎え)





1年間の行事・活動(例)

1月：お正月遊び、書き初め、雪遊び

2月：節分、バレンタイン

3月：ひな祭り

4月：お花見

5月：こどもの日(こいのぼり)

6月：梅雨製作、色水遊び

7月：水遊び、夏祭り(屋台ごっこ)、七夕

8月：プール遊び

9月：ミニ運動会、お月見

10月：秋まつり(獅子舞、神輿)、ハロウィン

11月：七五三参り

12月：クリスマス会、大掃除

*前月の後半に翌月のカレンダー製作

*「ふれあい遊び」は季節ごとに換え、朝の会で

*晴れた日は外に出て自然を感じる

*感覚遊びや音楽遊び(リトミック、楽器)

リズム遊びを取り入れている

*学生のこども達が長期休みの時はクッキングなど

お楽しみ会を開催

*夏はみんなでラジオ体操

*季節ごとの壁面を共同で製作

*スヌーズレンでリラクゼーション時間 など



本人支援

健康・生活

- * 健康状態の確認や不安な事、気になること…小さな気づきを大切にかかわります
- * 看護職員が常駐しており、1人ひとりに必要な医療的ケア(吸引や経管栄養、導尿や痙攣時の対応、呼吸器の管理など)を行います
- * 希望時には必要に応じて、生活リズムを整えるためケアの内容や実施時間の検討、簡素化の提案を行います
- * STを中心に口腔ケアの実施や安全な経口摂取ができるよう環境調整を行います
- * 条件つきで入浴支援も実施しています

運動・感覚

- * PTやOTが在籍しており、職員同士が連携し安楽かつ正しい姿勢の保持が行えるよう努めています
- * 日常生活に必要な動作や移動をするために必要な身体の動かし方などを遊び(活動)やりハビリ時間を通して楽しく練習します
- * 「みる」「きく」「さわる」など五感が意識できるような遊び(絵本の読み聞かせ、四季を感じられる製作、バランスボール、楽しく身体を動かすダンスやふれあいあそび、音や光の変化を感じるスヌーズレンなど)を行います



本人支援

認知・行動

* 「みる」「きく(大きな音、小さな音)」「さわる(冷たい、あたたかい)」などの感覚を用いることで認知機能の発達を促します

* 1人ひとりの歩幅やペースにあわせた活動を考えます(複数から自分で選択する、身体を動かす日やゆっくりリラックスする日など)

* 1日のはじまりを意識するため「朝の会」を行い、朝のうたやお名前よび等決まった流れを行うことで時間の経過を感じることができるようかわります

言語コミュニケーション

* 目線や全身の動き(指差しや身振り)、表情や発声などから1人ひとりにあわせたコミュニケーション方法で気持ちを汲みとります

* 思いや伝えたいことが相手に伝えられるよう、「絵カード」や「ジェスチャー」「ハンドサイン」などその子にあう伝達方法や表現方法を増やせるよう、一緒に考えます



本人支援・家族支援

人間関係・社会性

*笑顔になれる、楽しいと感じる空間の中で人とふれあい、安心してすごすことができるよう関わります

*「遊び」を通して大人の動きを真似することにより対人関係の芽生えを支援します

*1人遊びから連合遊びへ…集団活動の中で職員やお友達との関わりを楽しむため、職員が間に入りお手伝いをします

*自分でできること・できないこと(手伝ってほしいこと)を考える、1日のスケジュールの中で動くなど、気持ちや思いを伝えること、また情動の調整ができるよう声をかけたりそばで見守ります

家族支援

*内部や外部のオンライン・オフラインイベントの情報をSNSや活動記録、紙媒体にてお伝えしています

*家族で参加できる「クリスマス会」を12月に開催しています！また職員と家族をつなぐ、家族と家族をつなぐ、悩みを共有する、情報を交換することができる「保護者交流会」を開催しています

*希望時には相談支援専門員を含めたチームで今困っていることや悩んでいることの共有や解決方法を一緒に考えます

*個別避難計画の作成にむけたあんしんファイルの作成や更新のお手伝いをします



その他

地域支援・地域連携/移行支援

*法人内の事業所はもちろん、児童発達支援センターや特別支援学校、いしかわ医療的ケア児支援センターや関係機関(かかりつけの病院、クリニック、訪問看護ステーション)等と情報共有や情報交換を行っています

*ゆとり学園以外にも通所されている場合は必要に応じて、他事業所の方とも連携を図り一貫した支援ができるよう努めています

*焦らずにスモールステップで1歩ずつ…「居宅から通所」へ、「通所(ゆとり学園)から大きな集団・児童発達支援センターや地域」への移行を全力でサポートします！また児童発達支援から支援学校への移行に必要な準備なども一緒に考えます

*地域の方との交流や同世代のお子さんたちとの交流の場を現在検討中です

職員の質の向上

*管轄内の消防と連携し「救命講習」を受講しています！また5月には施設内の職員を対象とした全体研修を実施しています

*全国重症児者デイサービス・ネットワークに登録しており、中部ブロックの会議や開催される研修へ参加しています

*日本小児在宅医学会や医療的ケア児等コーディネーター支援協会に入会している職員もあり、全国の方と情報共有や交換、研修でのスキルアップを図っています

*石川県や金沢市が開催する研修にも参加しており、経験を積みながら日々情報のアップデートに努めています



保育士・児童指導員より

【遊びやコミュニケーションの中で
大切にしていることや意識していること】

- * こども達が安全に遊べる環境の用意
- * 個別活動：表情のよみとり
些細な変化に気付き関わる
- * 集団活動：人とのふれあい
社会性を育む

【ゆとり学園が行う保育・療育とは】

- * 1人ひとりにあわせた個別や集団活動を多職種連携を図りながら進めていく！
「みんなが楽しむ」ことを心がけています
- * イベント、行事企画を大切に！行事にちなんだ作品をつくりもちかえられるように
- * 季節の製作などこども達がつくった作品で部屋の壁面を装飾する(その子その子の強みを生かした方法を考える)
- * 誕生日カード、お祝いする



看護職員より

【関わりの中で意識していることや

大切にしていること】

*言葉以外のコミュニケーション(普段と違う、**いつもと何か違う**…を感じ取る)

*表情の観察や声かけでみんなが安心できる、笑顔になれるよう、細やかなケアを意識しています

*自分らしく健やかに成長発達ができるよう愛情をもって必要なケアなどのサポートを行います

*こどもたちだけでなくご家族にも寄り添えるよう多職種が1つのチームとなり関わらせていただきます

【ゆとり看護師の強み】

*お子さんと家族のニーズを捉え、ご自宅での状況を把握し、困った・不安な時に寄り添い、よりよい方法を一緒に考え、ご提案することができます

【連携するうえで大切にしていること】

*視点の違いがあることを理解したうえで意見に耳を傾ける、尊重する姿勢をもっています

*専門用語はわかりやすく言い換えて伝えるようにしています

*こまめな**報告**・**連絡**・**相談**を心がけています



リハビリ専門職員より

【関わりの中で意識していることや

大切にしていること】

* お子さんがもっている「**ちから**」を引き出すことを大切にしています

* 「遊び」の中で自然と身体の動かし方を見につけ楽しく練習することを意識しかかっています

* 「できる」ことをみつける、維持する、増やせるように

* その日の体調や疲れ具合によってリハビリの内容を変更しています(頑張る日、リラクゼーションの日、呼吸を整える日など)

* 楽しくコミュニケーションを図り想いを伝えられるように、また安全に楽しく食べられることを大切にしています

【ゆとりリハビリの特徴】

PT: 日常生活に必要な姿勢や運動(身体の動かし方など)機能の獲得や維持、その日のお子さんの状況にあわせてリハビリを遊びやリハビリ時間の中で行います

OT: 日常生活に必要な動作、手の動き、食事やコミュニケーションをとる練習を遊びやリハビリの時間に練習します

ST: 「はなす(言葉、言葉以外の想いを伝える方法)」や「食べる(形態や嚥下、お口の機能)」のために必要なちからを考え、一緒に練習します

【連携するうえで大切にしていること】

* リハビリの視点をわかりやすく多職種にも伝えることを意識しています

* 今必要なリハビリ内容を一緒に考え、情報の共有をしています

